

菊川市の課題を解決する小中学生、「菊川ジュニアビレッジ」の取り組み

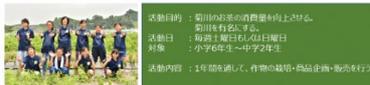
応募チーム名：菊川ジュニアビレッジ 自治体：静岡県菊川市

(特徴)

菊川ジュニアビレッジは「小・中学生が、農業を通じて起業・経営を経験する」活動の場として、2016年度から開始している。この取組は、子供の農業体験だけでなく、一年間を通して、栽培、育成、販売まで体験して、技術・経営を経験する場でもある。お茶の産地ということで、ハーブを栽培し、子どもたちが

菊川ジュニアビレッジとは

菊川ジュニアビレッジは「小・中学生が、農業を通じて起業・経営を経験する」活動



活動目的：菊川市産の消費額を向上させる。菊川市有名にする。
活動日：毎週土曜日(16日白曜)
対象：小・中学生(10歳以上)
活動内容：1年間を通して、作物の栽培・商品企画・販売を行う



みんなで作って苗の定植・草刈り・収穫
“社長”“マーケティング”など活動をも
紅白にアロハな衣装を合わせよう
販売会で販売種別から生の声聴取
活動を通して、「生き抜く力」を身につける。産業を興すことのできる地域発次世代リーダーを育てる

ブレンドを考案して、三種のハーブティーに加工・袋詰め（これは地域の業者に委託）して、あちこちのイベントに参加して販売体験をするという流れだ。今後の活動としては、対象を高校生や6年生以下の小学生（地域に増えている外国人子弟も視野）にも広げ、作るものとしては野菜作りやハーブを使ったお菓子作りを考案中である。これまでは国と市の助成金でサポートする大人の人件費を賄え

たが、これからは資金的な自立も含めて検討していく時期に来ている。

(アドバイス)

1. 持続的な成長に向けて

このプロジェクトは菊川市の地域活性化や地域で働きたい若者の育成といった社会的には重要な使命を持っており、全国展開も含めてその成功を願っています。このため、2019年度から菊川ジュニアビレッジの運営が自立していくことを第一にした目標と計画を立て、関係者で合意して進めていけることを期待しています。

2. 経営感覚の醸成と子供同士の学び合い

今後の展開として、高校生を対象に考えているということですが、彼らには、小中学生以上に、農業や野作物の経営体験を収支計算まで含めて、しっかり体験してもらう具体的な目標の設定も良いかと思います。さらに、ITを使った農業技術改善や経営なども目標にされてはと思います。これが高校の課外活動の一環として取り入れられることも検討していただければと思います。その際、例えば、この事業の発案者で優れた農業技術のリーダーである加藤百合子氏に高校巡りをして、これからの農業の未来、菊川の未来を語っていただくことも良いかと考えます。

以上が軌道に乗れば、高校生が小中学生の指導の手伝いに回ることも考えられると思います。彼らが教えることで、教える側、学ぶ側にも新鮮な経験が得られていくと思います。

3. 売れる作物の模索と開発

以上が成功するためには、子供目線で考える作物に限らず、経営として持続的に売れる作物を模索し、場合によって開発することも必要かと思えます。ここにも高校生の活躍の場がありうるのではないかと考えます。

4. 市役所の持続的支援

今後、このプロジェクトが持続的に成功すれば、菊川ジュニアビレッジの体験者が地域に戻ってきて、産業を興せる人材に育つ可能性を持っており、この意味でも引き続き人的ネットワーク支援などを期待しております。